

### 教え方のステップとポイント

<p><b>第1段階</b> 一習う準備をさせる</p> <p>▶ 気楽にさせる</p>	<p>心の準備、物の準備</p> <p>①趣味を通じて心を通わせる</p> <p>②何か自分と共通点を見つけ、それを通じて共通の場で話す</p>
<p>▶ 何の作業をやるかを話す</p>	<p>①作業の内容をできるだけくわしく話す</p> <p>②その作業と関連する作業も話す</p> <p>③専門語を使う場合は解説する</p>
<p>▶ その作業について知っている知識の程度を認める</p>	<p>①自分のレベルでものを考えるな</p> <p>②ドライバー（ねじ回し）さえ知らない者もいる</p>
<p>▶ 作業を覚えたい気持ちにさせる</p>	<p>①作業の重要性、社会性について分かりやすく話す</p> <p>②作業の外に職場のレクリエーションや厚生施設についても話し、働いたあとの楽しさについて話す</p>
<p>▶ 正しい位置につかせる</p>	<p>①正しい位置は作業能率を向上し、不良を防ぐことを話す</p> <p>②悪い姿勢の作業はケガのもとである</p> <p>③動作経済の原則に従う</p>
<p><b>第2段階</b> 一作業を説明する</p> <p>▶ 一時に一事の方法で、おもなステップを1つずつ言ってきかせてやってみせ、書いてみせる</p>	<p>①作業指導票にもとづいて、1ステップずつ区切りよく</p> <p>②やさしい言葉でなるべく専門用語はさける</p> <p>③楽しい雰囲気で作業を覚えたい気持ちにさせながら</p> <p>④画や図画、マンガ等あらかじめ準備する</p>
<p>▶ 急所を強調する</p>	<p>①ただらした説明は必要な個所をかえてアイマイにする</p> <p>②この作業にはこれが急所であるということをハッキリ言い、それをまちがうとどうなるかを教える（急所の理由）</p>
<p>▶ はっきりと、ぬかりなく根気よく</p>	<p>・つねに親切に、誠意を持って正確に</p> <p>①1ステップずつ分かったかどうかを確かめながら教える</p> <p>②説明の言葉は適切か</p>

<p><b>第3段階</b> ーやらせてみる</p> <p>▶ やらせてみて、まちがいを直す</p>	<p>・安全にとくに注意すること</p> <p>①だまってやらせる</p> <p>②相手が分からなくなったら直ちに教えてやる</p> <p>③まちがったり分からないのが当然だと思うこと</p>
<p>▶ もう一度やらせながら急所をいわせる</p>	<p>①おもなステップを1つずつ区切って</p> <p>②急所の理由についてもいわせる</p> <p>③相手がつまったらすじを教えてやる</p>
<p>▶ よくのみこんだかを確認する。 相手が分かったと分かるまで続ける</p>	<p>①やらせてまちがないと自分が納得するまで根気よく</p> <p>②相手がのみ込みが悪くても決して怒ったり、けなしたりしてはいけない</p>
<p><b>第4段階</b> ー教えた後を見る</p> <p>▶ 手放しで自分の仕事につかせる</p>	<p>①すべての正しい設備と道具、材料その他の必要品の準備はよいか</p> <p>②とくに急所に気をつけてやるよう注意する</p> <p>③ゆっくりと、おもなステップを1つずつ区切って仕事するように注意する</p>
<p>▶ 分からぬときに聞く人を決めておく</p>	<p>①分からないときに聞く人を自分と、もう1人決めておく</p> <p>②だれにでも聞かせると、まちがったことを教えるおそれがある</p>
<p>▶ 質問するように仕向ける</p>	<p>①知らなかったり分からないのが当然であるから、聞くことはけっして恥ではないことを教える</p> <p>②質問されやすい態度をとる</p> <p>③質問されたら第2段階、第3段階の手法に従って教える</p>
<p>▶ だんだん指導を減らしていく</p>	<p>①初めは1時間おきぐらいに見て指導する</p> <p>②相手の理解の状態により指導を減らしていく</p> <p>③当分は手放しではいけない（相手の理解度、作業の難易度）</p>
<p>相手が覚えていないのは自分が教えなかったのだ</p>	